



# Mima RC 週報

## Weekly Report

国際ロータリー2670地区  
例会場：森友  
毎週火曜日19:00~20:00

## 出席報告

会員数	会場出席	ZOOM	欠席	メーキャップ	修正合計	出席率
35	20		15	0	20	57.1%

## 2025-2026年度 第 23 回 例会プログラム

開会点鐘 19時 四つのテスト／我らの生業

ゲスト いません

会長の時間／幹事報告／委員会報告／スマイルボックス発表／新入会員歓迎会並びに新年会

## 会長の時間



「成人の日」は1948年（昭和23年）に制定され、当初は1月15日でした。これは、奈良時代から行われていた成人を示す儀式「元服の儀」が小正月（1月15日）に行われていたことに由来します。その後、「ハッピーマンデー制度」導入に伴い、2000年（平成12年）から1月の第2月曜日に変更されました。

1月15日が「成人の日」として祝日になったのは、1949年。「おとなになったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます」というのがその趣旨。では、なぜ1月15日だったのでしょうか。それは、江戸時代以前、男子の元服の儀が一月十五日におこなわれていたことに由来しています。

旧暦、太陰太陽暦時代の暦では毎月十五日はほぼ満月。特に一月十五日は、その年の初めての満月を祝う「小正月」です。つまり、この特別な満月の日に、一家の行く末を託す男子の「元服」をおこなっていたのです。

通過儀礼の多くは、「服装規定」に対応しています。「元服」では、冠をつけることが許されます。女性は、「結髪」。今でも皇室では、皇太子が、青年皇族の一員であることを内外に宣言し冠を授けられる「成年の儀・加冠の儀」と呼ばれる儀式があります。

古来武家には、元服を迎える若者に冠を授ける役割を担う大人を委嘱する「烏帽子親」制度がありました。烏帽子を授けるだけでなく、烏帽子親はその若者の後見役を担ったのです。下克上の戦国時代などは、誰に息子の烏帽子親になってもらうかということは、その家の将来の浮沈をも決める重要な選択だったわけです。

現代の日本でも最も大切にされる儀礼を四つに分類し「冠婚葬祭」と呼んでいます。そのうちの「冠」が「成年の儀」「成人式」にあたりますが、「加冠の儀」に由来していることはすでにお分かりのことと思いま

古来「元服の儀」では、多くの大人たちの中で若者が元服を宣言し、大人たちがそれを承認するというものでした。武家であれば、元服を迎えたことで戦場に赴くことも許されます。その力が確かにあるかどうかを大人たちは厳しい目で見極め、それを認めることではじめて自分たちの仲間の一員として、相互扶助の輪に加えたのです。

## 幹事報告

到着週報 脇町 RC 阿波池田 RC 鴨島 RC

- ・「ロータリーの友」が届いていますトレーに入れておりますのでお持ち帰りください。
- ・阿南南 RC の記念誌がとどいています。回覧いたしますのでよろしくお願ひします。
- ・短期交換留学生の案内が届いています。確認お願ひします。

## 委員会報告

田村副親睦担

「1月24日は香住に蟹を食べに行く親睦旅行を行います。詳細決定次第また報告いたします。」

## 新入会員歓迎会並びに新年会

### 乾杯



### 新入会員の挨拶

えりりとゆゆ（音楽ユニットゆりり）

中野晃司様



辻会長の周年事業への意気込み！



最後は山内会長エレクトの締め



2026年も頑張りましょう！！



スマイルボックスの発表

ありません

次回例会

1月20日 19時～ 場所 森友

※出欠連絡は前日までに幹事までご連絡ください。